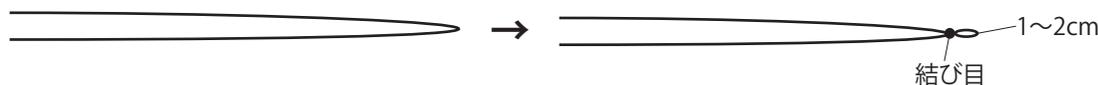


タッセルメーカーで作る タッセル飾りのタペストリー

※タッセルメーカーの使い方は、商品付属の説明書をご覧ください。

<作り方>

- ①タッセルの下げひもを作ります。
(f)の糸を70cmにカットし、二つ折りにして輪に近い部分を結び、結び目を作ります。これを13本用意します。

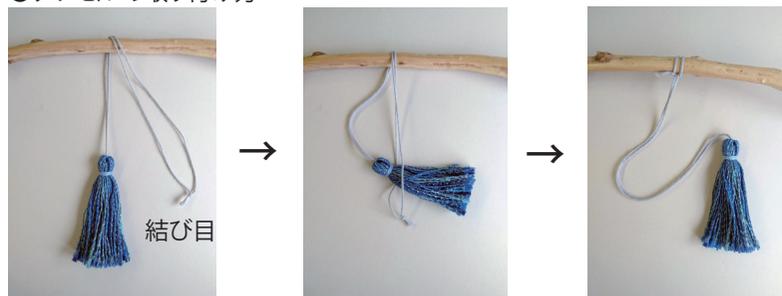


- ②タッセルを作ります。タッセルメーカー<ラージ>を、10cmサイズのタッセルが作れるようにセットします。糸を35回巻き、①で作った下げひもの結び目を埋め込んで中心を結び、後は説明書の通りに仕上げます。下記の糸・個数で、全部で13個のタッセルを作ります。

糸(a)~(d):各3個 ※タッセルの首部分は全て(a)の糸を約40cmにカットして使用する
糸(e):1個

- ③タッセルを木の棒に取り付けます。(c)の糸のタッセルを、棒の中央かつ棒から約30cmの位置に取り付けます。このタッセルを基準に、外側のタッセルが3cmずつ上にくるように下げひもの長さを調節して、全体がV字型になるように全てのタッセルを取り付けます。タッセルの位置が決まったら、木の棒と下げひもを少量のボンドで固定します。

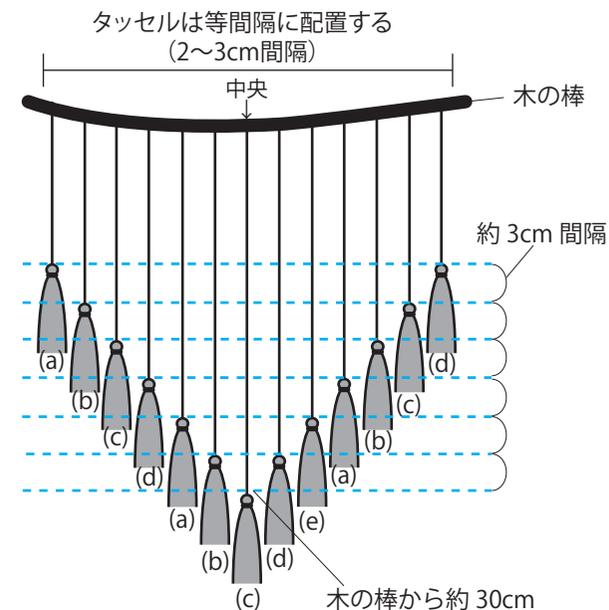
●タッセルの取り付け方



下げひもの端に結び目を作り、輪にしておく。画像のように木の棒の後ろから手前にひもを渡す。

輪の中にタッセルを通す。

タッセルを引き、輪を引き締める。



- ④かぎ針を使って、(e)の糸でスレッドコードを編みます。スレッドコードは木の棒よりも約10cm長く編みます。※スレッドコードの編み方は2ページ目にあります。



デザイン/パフェプロジェクト東京 佐藤和佳子
出来上がりサイズ:タテ約60cm×ヨコ約40cm
(吊り下げひもは含みません)

<使用道具>

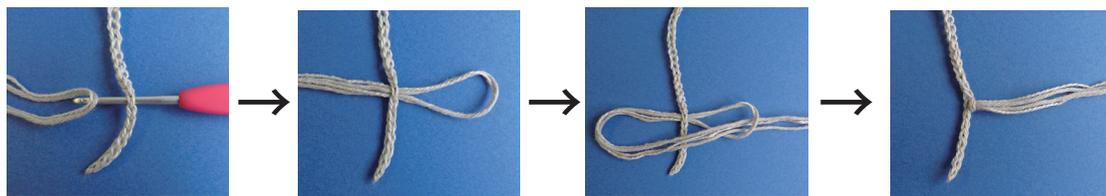
タッセルメーカー<ラージ>
カットワークはさみ115
かぎ針「アミュレ」5/0号
クローバーボンド手芸用
定規
※あると便利なもの
クローバーロータリーカッター45mm
カッティングマット

<材料>

合太程度の手編み糸(サマーヤーン) 6種
(a):水色 約79m※
(b):青 約51m
(c):白 約51m
(d):ネイビー 約51m
(e):薄いグレー 約63m※
(f):グレー 約55m※
※=フリンジ飾りの量によって変わります
木の棒 約40cm 1本

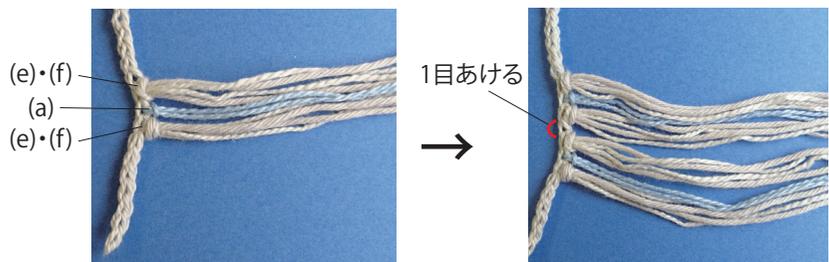
⑤(a)、(e)、(f)の糸をフリンジ用にカットします。糸は全て1mずつカットします。
 使用する本数は④のスレッドコードの長さによって変わりますが、見本作品では(a)22本、
 (e)・(f)各44本使用しています。

⑥スレッドコードにフリンジを付けていきます。(e)・(f)の糸はセットで使うので、2本一緒に持って二つ折りに
 します。(a)の糸は1本で二つ折りにします。
 スレッドコードの端を約3cm残して、編み目(くさりの頭2本)にかぎ針を入れます。
 二つ折りにした(e)・(f)の糸の折り目の部分を数センチ引き出し、輪の中に糸端を入れ、引き締めます。
 同様に、スレッドコードの隣の目に(a)の糸を取り付け、さらにその隣に(e)・(f)の糸を取り付けます。
 このスレッドコード3目分を1セットとし、次のセットを取り付けるときには1目あけます。
 これをスレッドコードの端が約3cm残るまで繰り返します。



スレッドコードの編み目にかぎ針を入れ、
 (e)・(f)の糸を引き出す

引き出した輪の部分に糸端を入れ、
 糸端を引いて輪を引き締める

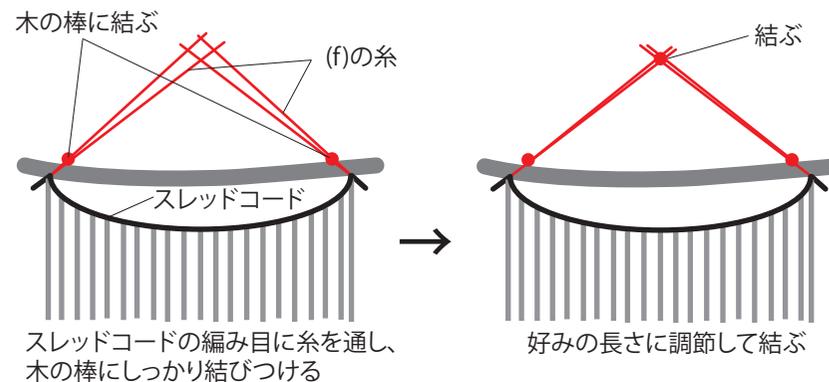


(e)・(f)
 (a)
 (e)・(f)
 1セット取り付けた状態

1目あける
 2セット目は、スレッドコードの目を
 1目あけて取り付ける

⑦フリンジを全て取り付けたら、スレッドコードが直線になるようにテーブルの上に置き、
 フリンジの長さを切りそろえます(40~48cm程度でお好みの長さに)。
 この時、カッティングマットの上に置いて、定規を当ててロータリーカッターで切ると
 簡単にきれいに切りそろえることができます。

⑧フリンジ飾りを木の棒に取り付けます。(f)の糸を50cmにカットしたものを2本用意し、
 両端のフリンジを取り付けたスレッドコードの編み目にそれぞれ通します。
 通した糸を木の棒にしっかりと結び付け、糸端同士を結んでタペストリーを吊り下げる
 ひもにして完成です。



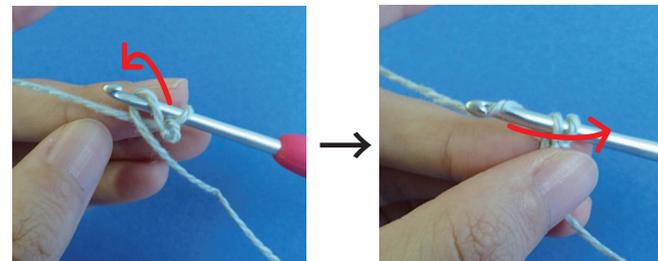
木の棒に結ぶ
 (f)の糸
 スレッドコード
 スレッドコードの編み目に糸を通し、
 木の棒にしっかりと結びつける

結ぶ
 好みの長さに調節して結ぶ

●スレッドコードの編み方

(1)編みたいコードの長さの3倍の糸を残して、くさり編みを1目
 編みます。

(2)残しておいた糸を手前からかぎ針にかけ、左手にかかっている
 糸をかけて、かぎ針にかかっている2本を引き抜きます。
 同様に繰り返して編んでいきます。



最初に残しておいた糸を
 手前からかぎ針にかける

左手にかかっている糸を
 かけて、かぎ針にかかっ
 ている2本を引き抜く



スレッドコードが1目編めた

